

どんなスケジュールで調査を行うの？

令和2年国勢調査は以下のスケジュールで行います。

9/14
(月)

調査票の配布

調査員が世帯を訪問し、調査書類を配布します。

○世帯主の氏名や世帯員数を調査員がインターホン越しにお聞きした後、調査書類をポストに配布します。

※感染症対策として、非接触の調査にご協力ください。

○回答に関する不明な点は、国勢調査コールセンター（P5）にお問い合わせください。



▲配布される調査書類収納封筒

インターネットで回答をする人

調査書類が配布されたら、インターネット回答利用ガイドに記載された「ログインID」と「アクセスキー」を入力して回答へお進みください。

○一度インターネットで回答をしても、期間内であれば修正は可能です。9月14日(月)から回答できます。



▲インターネット回答利用ガイド

紙調査票の郵送提出をする人

「インターネットの環境が無い」、「回答は紙で行いたい」という人は、同封の返信用封筒で提出することができます。

○郵送提出の場合、回答の修正ができないので、調査期日の10月1日(水)以降の記入・提出をお願いします。



インターネット回答でも郵送提出でも、10月7日までの回答をお願いします。



▲返信用封筒

回答期限

10/7
(水)

特集 国勢調査2020

国勢調査刈谷市実施本部（☎95-0008）

今年は5年に1度の国勢調査の年です

調査で一番大切なことは、正確な結果を得ること。そのためには、世帯主の皆さん全員に回答していただくことが必要不可欠です。調査票が皆さんに配布される前に、国勢調査の概要や新型コロナウイルス対策について解説します。刈谷市、そして日本の未来のため、調査へのご理解とご協力をお願いします。

国勢調査ってどんな調査なの？

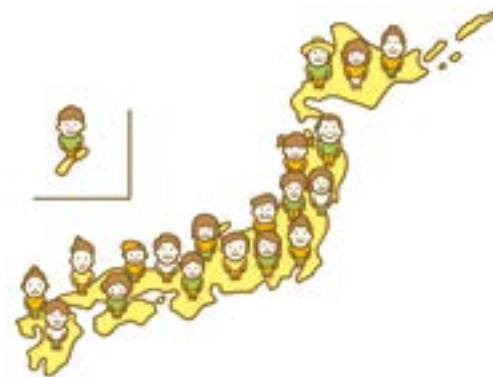
調査の年の10月1日時点で日本に住む全ての人が対象となる、最も重要な統計調査です。調査書類は各世帯主に配布され、19の調査項目があります。

世帯について

「世帯員の数」や「住居の種類」など4項目

世帯員について

「男女の別」、「出生の年月」、「配偶者の有無」、「就業状態」、「従業地又は通学地」など15項目



調査結果は何に使われるの？

国や地方自治体の行政機関だけでなく、企業などにおける需要予測や経営管理、学術・研究機関における研究のためのデータとして、さまざまな分野で幅広く活用されています。

行政機関による利用

各種法令に基づく利用

- ◎ 衆議院の小選挙区の改定
＜衆議院議員選挙区画定審議会設置法＞
- ◎ 地方自治法で用いる人口として規定
＜地方自治法＞
- ◎ 地方交付税の算出に利用
＜地方交付税法＞

行政上の施策への利用

- ◎ 防災関連
・防災計画の策定
・災害復旧計画の策定
- ◎ 地域活性化関連
・都市交通計画
- ◎ 少子高齢化関連



公的統計のための利用

- ◎ 将来人口、世帯数の推計
- ◎ 生命表の作成
- ◎ 他の統計調査の標本設計

学術研究・企業などでの利用

- ◎ 学術研究
・人口学
・経済学
- ◎ 企業などでの利用
・電力需要などの各種需要把握
・商品開発やサービスの需要予測



ここに挙げられているのは一例カリ。いろいろな所で使われているんだね。

